

おすすめ



共济制度のどんなところが気に入った？
加入のきっかけは？
保障を考えるうえでのポイントは？など、
ご加入いただいている会員の先生と税理士の
3名にインタビューしました！



共济部担当副会長
早坂美都



友廣 友香子 先生
(練馬区)

——共济制度にご加入したきっかけを教えてください。

——保険会社の方がいらしたので、お話を聞いて加入しようと思いました。

——ちょうどそのころ何も入ってなくて、開業してしばらく経って、そろそろちょっと何か考えた方がいいのかな、スタッフも増えてきたし、休業した時なんかもちよっと考えた方がいいかなと思っていった時期だったので。

——ご開業されてどのくらいの時期でしたか？

——開業して2年ほどだったと思います。

——休業保障のどこに惹かれましたか？

——休業保障は所得保障と違い、所得に連動しなくていいなと思ったのと、自分で好きな回数

をかけれるというところがいいなと思いました。

——あとは代診がいても保障対象というところもポイントでした。

——他の先生へのおすすめの一言をいただけますか？

——コロナもありましたし、自身も出産があったりしたので、心配があります。開業していると、不測の事態は結構起きるので、何かしら備えておくというのには、気持ち的にも安心かなと思います。



裏面へ
つづく



駒形 葵 先生
(文京区)

——グループ生命保険に加入されたきっかけを教えてください。

母が元々入っていて、みんなが健康だったらお金が戻ってくるのがすごいいいなと思って。みんなが元気でいると、みんなにいいことがあるよ、というのがいいなと思っています。

——まだ入っていない先生方におすすめのポイントはありますか。

保険医年金は定額で少しずつ積み立てていけること。これから先、お金がかかることとか失敗することとが出てくると思います。歯科医師として最前線で働ける年数は20年くらい

だと思うので、今だけだけ積み立ててや老後を考えられるかってことだと思う。返ってくるときはこうなりますよというシミュレーションで、少しでも安心が手に入るならいいんじゃないかな。

——年金は利率がすごくいいですね。私もユニットの入れ替えの時に一部解約しましたが、あら！こんなに増える！とびっくりしたんです。



顧問税理士
櫻木 敦子 氏

——死亡、休業、老後それぞれについて、どのように備えるのが良いでしょうか？

生命保険は、相続人一人当たり五百万円まで非課税になるので、節税という観点からは、非課税枠内までは最低限加入することをおすすめします。

休業時でも家賃や給与を払ったりということがありますので、給付金に税金がかかってしまうと資金繰りが厳しくなります。休業保障は給付金が非課税という点で大変ありがたい制度です。

顧問先の先生でも、給付を受けて、お元気に復帰するまできちんと資金をつなげたという方がいらっしゃると思います。

休業保障は税金的なところというよりは、本当にいざという時のための保険だなと感じています。

保険医年金は、所得が高い時に多めに掛け金を増やすことができて、将来収入が少なくなった時に年金または一時金と受け取りの方が選べるので、老後資金という点でも、節税の観点からも入っていただくといいのかなと感じます。

——保険に加入される際に、一番重要な点を教えてください。

無理のない金額にすることだと思います。

どの保険も少ない金額や口数が設定されていますので、無理のないところから始めて、状況に合わせて増やしてもらうのが良いと思います。